

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/9/18 ~ 2022/11/15)

1. 勉学の状況

◎授業

York St John 大学では留学生は半期につき3つの授業を選択できてそれぞれ週に2回講義があります。課題はそれぞれプレゼンテーションが一つと最終課題のレポートが一つで毎週の提出物がないのが千葉大学での授業との違いだと感じました。この大学ではファッションマーケティングのコースの授業を選択しています。授業の分野を統一させたかったのですが、留学生は提示された一覧からであればどのコースの授業からも選択できるので私の周りには異なる分野を組み合わせている人もたくさんいます。千葉大と違って履修希望を出してから開講日時が分かるので、決定後に希望した授業がクラッシュしてしまいもういちど希望を出さないといけない場合もあります。

November 2022					
Mon 7	Tue 8	Wed 9	Thu 10	Fri 11	
all-day					
9:00					
10:00					
11:00	BMM5003M-A - CONSUMER BEHAVIOUR AND CONSUMER TRENDS - SEMINAR A 01				
12:00					
13:00	BMM5003M-A - CONSUMER BEHAVIOUR AND CONSUMER TRENDS - LECTURE				
14:00					
15:00					
16:00	BMM4004M-A - PRINCIPLES OF FASHION MARKETING - LECTURE A 01		BMM4004M-A - PRINCIPLES OF FASHION MARKETING - SEMINAR A 01 HG136 - LEARNING	BMM5006M-A - SOURCING, SUPPLY CHAIN, ETHICS AND DISTRIBUTION - SEMINAR E 01 FT113 - IT ROOM (35)	
17:00	BMM5006M-A - SOURCING, SUPPLY CHAIN, ETHICS AND DISTRIBUTION - LECTURE A 01				
18:00					

- Principle of fashion marketing
- Consumer behavior and Consumer trend
- Sourcing , Supplychain , Ethics and Distribution

◎英語

まず、アクセントが独特で聞き取りに苦戦しています。留学のためにハリーポッターを見たりしましたが、地域によっては映画の中でのはっきりとした発音ではないため最初はとても混乱しました。とにかくキーワードを聞き取って文脈から理解することが必要だと感じています。また、日常会話はなんとか続きますが、アカデミックな話題での英会話に大苦戦しています。一言も授業で発言できないときはとてもやるせない気持ちになります。もし、イギリス留学を検討していてこれを読んでくださっている方がいれば日常的に自分が千葉大の授業で得た知見や考えを英語で要約したり話してみたりする習慣をつけるといいと思います。

2. 生活の状況

◎寮

私の寮は大学の寮の St Mary's という建物で、大学から徒歩10分弱、中心街から徒歩15分ぐらいのところにあります。イギリス人の女の子ひとりと私を含めた日本人の女の子3人でキッチン、トイレ、シャワーを共有しています。食事は自炊をすれば日本で一人暮らししていた時よりも安く済みますが、外食や買い食いをすると日本の倍近くかかりとても極端です。調理器具が学校のバザーでもらえると聞いていましたが、今回は留学生の数が増えたのか私がいった頃にはほとんど何もなかったもので、ある程度買い揃える覚悟は必要ようです。火災報知器が夜中に鳴って外に出されること以外特に不満はありません。



左) 寮前のお花畑が可愛くてお気に入りです



右) St Mary's は一番安い寮ですが、大きい机とベッド、クローゼット、独立洗面台が部屋にあり満足しています。

◎交友関係

友達を作る機会は、オリエンテーション期間中にたくさんありましたし、授業でも留学生が自分以外にいる場合はお互い助け合っていくうちに仲良くなれました。しかし、交友関係の築き方、続け方について悩むことは多くありました。たった2ヶ月で週末に出かけたり気軽に相談できる仲間を作るのはそう簡単ではないです。できるだけ話す頻度を増やすためにもどんどん自分から連絡をとって話しかけて・・・と、しばらくしていなかった友達づくりを久しぶりにして、とても疲れた1ヶ月弱でした。留学の1番の目的は勉強なので、「自分のペースで交友関係を気づいていけばいい」という考えと、「せっかく渡航しているのだからたくさん友達を作りたい」という気持ちが入り混じりいまだに正解がわからない状態です。しかし、結局は毎週新しい友達と予定を立てていろんな話ができ楽しく過ごせていると思います。

◎課外活動

私はテニスサークルに所属していて週に一回ゆるーくテニスを楽しんでいます。とにかく韓国人が多く、たくさんのコリアンフレンドができました。共通の話題があったりフィーリング的に通じ合えるところも多い点、気楽に付き合えていますし、英語を話す機会にもなって嬉しいです。いろいろな名前のサークルがありますが基本的にはパーティーがメインだったりする

ので“テニス”“バドミントン”などわかりやすいものに参加するのがいいかなと個人的に感じています。また、お隣のヨーク大のサークルに参加している友達もいるので私もチェックしてみようと思っています。

11 月半ばにリーディングウィークという名の 1 週間休みがあるのでその期間を利用して一人でロンドンに 3 泊 4 日で行って来ました。ヨークからロンドンは電車で 3 時間ほどです。ヨークよりも外国人の割合が多くて自信を持って英語を話せました（笑）この期間を利用して海外に旅行する友達もたくさんいます。



左) ロンドンにある Her Majesty's Theatre でオペラ座の怪人を見てきました。

右) クリスマスモードのロンドンを一人で歩くのは気持ち的に簡単ではありませんでしたが、同じく一人旅中の中国人のお友達ができました。

◎気候

とにかく寒いです。また雨は非常に多いですが天気がコロコロ変わるのですぐやんでくれる点ありがたいです。スーツケースに入れられる服も限られていると思うので冬服を優先してパッキングすべきだったなと感じました。

◎そのほか

コロナですがもうイギリスでは完全に過去のことになっていて驚きました。しかし、日本人韓国人の多くが順番に候の違いで体調を崩していて、そのなかには味覚症状があるといっている友達もいたので感染の可能性は十分にあると思います。もしものために病院のかかりかたや場所を決めておく必要がありますし、スーパーも日本の感覚からすると遠いので常に簡単に調理できるものをストックすることが大切です。



左) フラットメイトと一人一品準備してパーティーをしました。毎月行事にしようと思ったので楽しみです。

右) 最初で最後かもしれないイギリスでのハロウィンを全力で楽しみました。

★次の月に向けて★

早くも2ヶ月が経ってしまいました。この2ヶ月、千葉大のクロスメジャー（国際教養学部の必須科目）との両立や、交友関係の築きかたなどたくさん悩むこともありました。英語もプラスアルファで何か勉強しなければいけないという気持ちがありつつも着手できていない状況です。ただポジティブに考えると常に自分に何が必要か考えている点で少しの成長を感じています。3ヶ月目の目標は、大学外にコミュニティを持つという点で外部のボランティアにコンタクトをとって参加すること、そして英語学習をルーティーン化することです。何事も後回しにせず、充実した毎日にできるように努力したいです。!!

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/11/16 ~ 2022/4/14)

<授業>

こんにちは!! こちらでは2月から新しいセメスターが始まりました。

今セメスターの受講科目は、以下の3つです。

Visual Fashion Communication
Business Analytics and Blockchain
Ethnicity, Nationality and Social Control

今回は、本命のファッションビジネスの授業があまりいいものがなかったので、ファッションマーケティング、ビジネス、犯罪学と全部違う分野から取っています。異なる分野から授業を取ろうとすると時間割の重複などがあり決定するのにとても時間をかけた記憶があります。ご覧の通り1日4コマある日ができてしまったのですが、帰る頃には魂が抜けているのであまりお勧めしません。課題に関しては、3つともプレゼンテーションがある授業ですがその代わりレポートの分量が2000 word 前後なので、レポートが苦手な私には良い選択だったと感じています。1つのグループプレゼンテーションでは多国籍なメンバーで行うことになりましたが、コミュニケーションの図り方に苦戦しました。熱量に差があっても成績評価がグループメンバーで共通になるのが決まりなのでできるだけみんな平等に頑張りたいかったです。なかなか足並みを揃えるのが難しく泣きそうになりました。

<英語>

授業内容の理解のためのリーディングや語彙の検索以外は特に英語の勉強はしていませんが、自然とイギリス英語特有の言い回しなどがずっと頭に入ってくるようになり会話がスムーズになったように感じています。ヨークでは、寒い時期が続き4月の初めごろにも雪が降るといふ有様です。今これを書いているのは5月中頃ですが、まだ薄いトップス一枚で出かける気温ではないので悲しいです。また、イギリスでは物価が上がっているのと、円安が続いているせいで買い物をするにも出かけるにもストレスがかかります。イギリスで外食しても学生の金銭感覚で満足できることはあまりないと悟ったのでひたすら自炊する日々です。

<課外活動>

1月からヨークにあるチャリティーショップ※でボランティアを始めました。ヨークにはたくさんのチャリティーショップがあり寄付される衣類や家具のクオリティがとても良いため私を含めた多くの地域住民が常に買い物の一つの選択肢として身近に感じている場所です。私は毎週土曜に3時間のシフトで店頭立ち、主にレジ業務を行なっています。当初は、サステナブルファッションとの関連性を見出しこのボランティアに応募しましたが、英語学習に想定以上の効果をもたらしてくれています。また、接客業務や他のボランティアとのコミュニケーションを通じでこれまでに使うことのなかった英語表現を日々学んでいる気がします。また、毎週一緒に働くボランティアの方は年配のとても優しい方が中心で、毎回のシフトでとても暖かい気持ちになります。

※チャリティーショップ

現地の病院やNGOが運営している店で、販売されているものは地域の人々からの寄付で集まったもので主にボランティアによって運営されています。収益は病院やボランティア活動の活動費として活用されるというイギリスならではのシステムで成り立っています。

<旅行>

クリスマスホリデーの間に1週間かけてフランスに交換留学している友達に会ってきました。パリだけでなくストラスブールとモンサンミッシェルにも行き、忙しい

旅でしたがとても楽しかったです。ただ、クリスマスの期間はヨーロッパの人にとって家でゆっくり過ごすものなのですべての公共交通機関の本数が少なく、値段も極端に高くなるので色々大変でした。イギリスの電車のストライキはほんとうに苦しいです。また、イギリス国内も何ヶ所か遊びに行きました。ヨークはイギリスの真ん中にあり、駅も大きな駅なのでどこにでもアクセスしやすくいいです。Leeds, London, Edinburgh に行くことができたので帰るまでに Liverpool (ビートルズの聖地) に行ってみたいです。



フランス旅行



Big ben に虹がかかっていました。



Edinburgh は歴史を予習してから行くと、楽しみが増すと思います。

<その他>

1つ留学前に知らなかったことを書いておくとすれば、YSJ の留学生は、とにかく韓国人が多く、各セメスターに 40 人ぐらいはいると聞きました。実際私の友達の 8 割は韓国人で、多くの日本人、少なくとも私にはない積極性やストレートな姿勢やハートフルな部分から学ぶことはとても多いです。一方でこの期間私の中で一つコンプレックスに感じていたのは、現地の学生との関わりが少ないことです。他の日本人は日本語専攻の現地生のコミュニティとの交流を行っていますが、私は高頻度の集まりがしんどそうなのでいくのをやめてしまいました。交換留学生同士の交友関係もとても楽しいですし、英語を話しているので全然有意義なものではあるのですが、日常からイギリス人の英語や考え方に触れている友達を見ると羨ましく感じることもあります。最近は開き直って、当初の留学の目的を思い出して課外活動を一生懸命やろうというスタンスで動くことができます。色々考えこんでしまった中間期間でしたが、自分にとっての留学の軸を考えることができ、結局は有意義な時間を過ごせたのかなと思います。あと残り少しですが、できるだけ外に出てイギリスでしかできないことを意識して楽しみたいです。



窓からの景色



Parlomade : 個人的 Best café in York

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/4/15 ~ 2022/7/1)

<大学生活>

授業は5月20日ぐらいに終わり、レポート課題3つの締め切りが月末だったので5月はずっと課題のことで頭がいっぱいでした。一番力を入れた課題は Visual Fashion Communication という授業の課題です。ブランドをどう視覚的にマーケティングするかというテーマに沿って10のトピックが与えられました。各トピック 250 Words ぐらいのなかでリーディングの要点を捉えていることに加えてオリジナリティも評価されるのが難しかったです。内容を理解できていて、何を書けばいいかわかっていてもそれをうまく自分の言葉で説明するのが英語でのレポート執筆の難しさでした。また、国際教養学部の必須科目であるメジャープロジェクトをオンラインで履修していました。留学先大学と開講期間が異なるのと時差の問題で朝早くになってしまうのが思った以上に大変でした。しかし留学と並行して卒論に向けた勉強を行って良かった点もたくさんあります。YSJの教授にコンタクトを取り、自分の勉強のテーマに精通している大学院生を紹介していただくことができ、その点はとても良かったです。



可愛くできました。

退寮日が6月11日で多くの留学生の友達はこの日にニューヨークから去りました。フラットメイトと分担して共用スペースの掃除をして、持って帰れない洋服や調理器具はチャリティーショップに持っていきました。私はありがたいことに帰省して部屋

を開けている間にステイさせてくれるという友人がいたので7月1日までヨークに滞在することができました。ちなみに、早めに連絡しておけば、退寮日を延ばせるそうです。

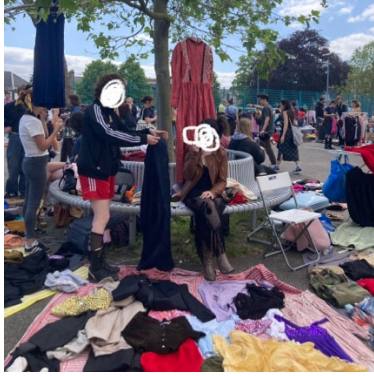
< 課外活動 >

約半年続けたボランティアの仲間ともお別れしました。最後に写真を撮ってもらい、あなたが大好きよ!! とハグしてくれた時はとても嬉しかったです。大学よりこういった学外の場所の方がより自分が「日本人」として見られていて、自分の国のことをよく聞かれたように思います。高校生からおばあちゃんまで幅広い年齢の現地の方と関わる良い機会でした。



< 余暇 >

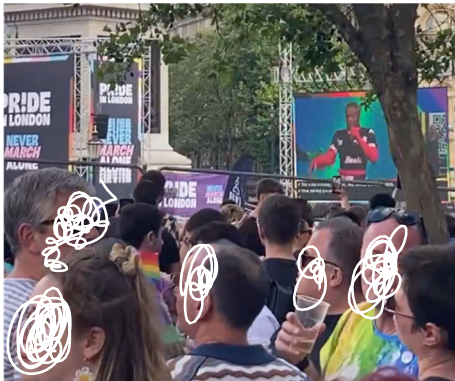
友人と一緒にロンドンと、そのまた南にある Brighton という海辺の街に行ってきました。ロンドンの中心街からバスで1時間くらいの Peckham で開かれている Car Boots Market は、フリーマーケットのような雰囲気ですが出店している人のセンスがすごくよくてとてもワクワクしました。英国を含めヨーロッパの国々では、日本よりも古着文化が浸透しているように思います。



Car Boots Market



Seven Sisters



帰国前にロンドンに立ち寄った日が偶然プライドパレードの日でした。町中がレインボーカラーで賑わっていました。Todrick Hall のパフォーマンスを見ることができました。

基本的にはヨーク自体が観光地でカフェや雑貨屋さんで充実しているので、週末は中心街に出て街歩きをしたりしていました。また、ヨーク駅はいろんな路線のハブになっていて、バスもたくさん出ています。車がなくても気軽に他の街に出かけられるのがとても良かったです。

<生活>

総じて寒い日が多かった9ヶ月でした。4月1週目には雪が降ってみんな怒っていて面白かったです。長い冬を超え、5月ごろにようやく春を感じることができました。肌寒いですが雨の日が少なく太陽が出てきたので York Museum Garden でピクニックを楽しめました。雨はよく降りますが、降ったり止んだりなのでイギリスの人は傘を持ち歩きません。最初はそれがあり得なかったのですが次第に自分もそのスタイルになっていきました。フード付きの上着とパソコンが守れるちゃんとした

靴!!これにつきます。天気の話ばかりになってしまいましたが、最初は不便だと感じていた面も9ヶ月生活し、日本が便利すぎるだけだと気がつきました。自販機がないからこそみんな当たり前に水筒を持参するし、スーパーが閉まるのが早いからこそ日頃からストックしておくというように日本に帰っても続けたいなという習慣もできました。



Zero Waste やフェアトレードへの意識の高さを感じられました。

<最後に>

まず、帰国時にコロナ関連でやらないといけないことはありませんでした。

9ヶ月で何者かになれたわけではないですが、日本に帰ってきて勉強や英語の面だけでなく、自分の考え方や人との接し方に変化を感じることができました。また、私は大学3年の夏に渡航し4年の前期に帰国しました。留学生活と就職活動を並行している友人もたくさんいましたが、私はいまよくやれる自信がなかったので帰国後に休学し、1つ下の学年と同じ時期に就職活動を行うことに決めました。周りの友達と違う計画で動くのはすごく不安でしたし、留学を理由に就職活動を遅らせるのは甘えではないかと感じることもありました。留学先でいろんな人と話し、自分の決断を肯定することができました。留学に期待していたものが大きすぎた分、自分の不甲斐なさに落ち込むこともありましたが、ここでできた友達との関わりやヨークでの思い出は、今後の人生を輝かせてくれる思い出になりました。

留学に行かせてくれた家族や、自分だけでは意識の及ばないところまできっちりサポートしてくださった千葉大学の方々には感謝したいです。